

【プログラム6：人との接し方について考えようⅡ～電話での話し方～】

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 ペ → 2人組 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ
1分	全	1. ねらいを確認する。 【1分】 [キーワード] ○ 電話での話し方
26分	個	2. 人によってどんな話し方をしているか振り返る。 【3分】 ○ 家族、友達、先輩（2～3歳年上の人）、先生、近所の人と話すときの言葉遣いを振り返り、ワークシート2にチェックする。
	ペ	3. 電話のかけ方・受け方のロールプレイをする。 【12分】 (1) ワークシート1をもとに、場面設定を知り、自分だったらどういう言い方をするかを考え、実際に言ってみる。 ※電話をかける役も受ける役もどちらも行う。
	個G	(2) 感じたことをグループで紹介する。
	個G	4. 人（家族や親しい友達以外）と接する時に必要なマナーについて考える。 【8分】 (1) ワークシート2に記入し、グループで紹介する。
	全	(2) グループで出た意見を全体に紹介する。
	全	5. 感想等を紹介する。 【3分】
3分	全	6. まとめ 【3分】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・社会性の広がりとともに、いろいろな人と接する幅も広がってくる。これからは、同世代の人ばかりでなく、年上の方と接する機会も増えるだろう。 ・誰かと接する時には、その人や場に応じた接し方が求められる。必要に応じて、場に応じた話し方ができるようになっていくことは、これからの生活にプラスになっていく。 ・社会人になったとき、困ったことの上位に「電話の対応」が挙げられると言われている。そのときに困らないように、少しずつ意識をしていくことが大事だ。 </div>

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・親しい友達や家族に話す時とそうでない時の話し方には違いがある。親や子どもの周りにいる大人の話し方は子どもに大きな影響を与える。場に応じた言葉遣いを心がけてほしい。